

阿波人形浄瑠璃芝居フェスティバル in 勝浦

# 今山農村舞台 秋公演

平成28年10月9日(日)

正午～

入場無料  
軽食販売あります



むかしから阿波の人は  
人形芝居が大好きでした

山里に住む人々は、村の集落ごとの神社の境内に自分達で舞台を建て、人形座をつくり浄瑠璃を習って楽しみました。今も残る阿波人形芝居・移りゆく季節のなかでゆったりとした時間の流れをお楽しみください。

主催：今山農村舞台保存会・勝浦町教育委員会・勝浦町伝統文化活性化実行委員会・勝浦座



A



B



C



D

## 出演者 ■ 演目

12:00~ 開会

12:15~ ■ 恵比寿舞  
謡・人形：今山座

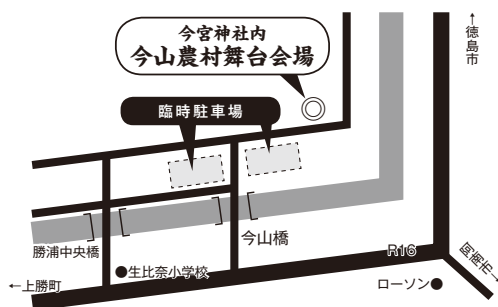
12:30~ ■ 傾城阿波の鳴門 順礼歌の段  
太夫：連記佳月 三味線：豊澤町若  
人形：勝浦町子ども阿波人形芝居教室

13:00~ ■ 壱坂観音霊験記 沢市内の段  
太夫：内田美峰 三味線：竹本友和嘉  
人形：小松島西高校勝浦校民芸部  
■ 壱坂観音霊験記 山の段  
太夫：佐々木なるみ  
三味線：竹本友和嘉  
人形：小松島西高校勝浦校民芸部

14:00~ ■ 絵本太功記 ニヶ崎の段  
太夫：藤井登美昇  
三味線：竹本友和嘉  
人形：勝浦座

15:00 終了予定

■ アクセス：JR徳島駅から約18km、車で約40分



平成 28 年度文化庁文化芸術振興費補助金  
(伝統文化親子教室事業)

## ■ 今山農村舞台保存会・今山座 A

「里山の復活」をスローガンに、全国的に稀有な造りである「今山農村舞台」の保存活動や、同舞台を用いた人形浄瑠璃公演を行っている。

## ■ 勝浦座 B

勝浦座の前身「久国座」は、江戸時代末期に久国村の若者によって創られた人形遣い的一座。明治、大正、昭和の初めには盛んに活動していたが、昭和6年の農村舞台の火災で人形、道具等全てが焼失。あわせて戦争の激化等で自然解散となったが、焼失を免れた三番叟の奉納は続けられていた。戦後復活の機運が高まり、隣村の人形座の道具一式を購入し「勝浦座」として再出発。昭和49年9月には勝浦町の無形文化財の指定を受けた。阿波人形浄瑠璃振興会に所属し、20名の座員が20余りの演目をこなし、夏期大会や阿波十郎兵衛屋敷の定期公演はもとより、県内外で積極的に活動を続けている。

## ■ 小松島西高校勝浦校民芸部 C

伝統芸能の継承、情操教育を目的に昭和37年に創設された。人形遣いの技術習得が難しく、人形や道具類も手に入りにくい人形浄瑠璃を、高校の部活動として現在まで取り組んでこられたのは、地元勝浦座の熱心な指導と地域の温かい支援のおかげである。阿波人形浄瑠璃フェスティバル、高校総合文化祭など、積極的な活動を行っている。

## ■ 勝浦町子ども阿波人形芝居教室 D

「子ども阿波人形芝居教室」は、徳島が誇る伝統芸能「阿波人形浄瑠璃」の保存・発展を図り、後継者の育成を目的に平成18年から小・中学生を対象に実施。今年の参加者は中学生8名で、7月から勝浦座の座員から指導を受け練習に励んできた。

## ■ 喜笑会・友和嘉会

喜笑会は、明治20年頃、神山町の高橋璃月氏が鬼笑会を興し、昭和45年、豊澤町子師匠が、喜笑会と改め、今日に至っている。町子師匠は昭和21年に三味線を始め、昭和23年豊澤町助師匠に入門し昭和27年、豊澤町子を拝命、三味線や義太夫語りの後継者を多く育て阿波人形浄瑠璃の継承に貢献してきた。その功績が認められ、2013年度地域伝統文化功労者表彰を受賞した。現在、後継者として、町若（孫）が引き継ぎ努めている。

友和嘉会は、平成9年に人間国宝鶴澤友路師匠より拝命した竹本友和嘉師匠を指導者として発足し、徳島最大の語りの会に成長。会の活動は幅広く、徳島県内はもとより淡路、大阪等の大会にも積極的に参加している。竹本友和嘉師匠は東京・国立演芸場での女流義太夫演奏会にも出演している。

お問い合わせ：勝浦町教育委員会 tel：0885-42-2515